

<http://www.minamih.net/>



11・9・10 (土)
南NEWS NO31

明日は6年生最後の都大会予選、12ブロックさわやか杯の2次トーナメントがあります。南は1次を見事に突破し、明日は春の全日本都大会予選で準優勝した白百合と対戦します。

愛宕小で13:00~です。勝つ可能性は0ではありません。なでしこジャパンのように奇跡は起こります。起こすか起こさないかは気持ち一つです。

午後練にとうとう1度も来なかった6年生がいることは矢上としては非常に寂しいし残念ですが、一生懸命練習してきた子達がむさしの招待対西原戦、前半0-2の劣勢を後半逆転で3位入賞を勝ち取ったように力を発揮してくれることを信じています。

b y 南のアンパンマン

松田さんが6月22日(水)に逝去されて、すぐの日曜日6月26日、南の6年生は全員喪章を着けて試合に臨みました。

「松田さんに最高の試合を魅せてあげてね」

と子ども達に伝えピッチに送り出しました。その願いに見事に伝えてくれました。子ども達の4年生の秋リーグ戦から矢上はほぼ全試合観てきましたが、今までで最高のパフォーマンスを魅せてくれました。

渡り廊下でパス&ゴー・パス&ゴーのダブルパスでチャンスを創る、後ろから前のスペースにどんどん上がり、オーバーラップをまたオーバーラップしていく攻め、ドリブルの技を駆使してゴールをゲットするなど素晴らしい攻撃を3試合とも展開することができました。観ていて本当に楽しいサッカーを魅せてくれました。松田さんも喜んでますよ。

b y 南のアンパンマン

GP 招待 6 年生大会

6月26日 文化大G



○試合のめあて

・コーチング ・渡り廊下 ・パス&ムーブ ・アジリティ

○1次リーグ

エイブル都留 1-0 勝ち (前半 0-0)

開始の笛と同時に相手 KO のボールに工藤君が猛然と詰めます。全員のやる気が前面に出た試合でした。

右サイドバックの林君がボールを奪うと MF の小澤君がラインまでダッシュして、林君とワンツーで攻撃につなげ、また左サイドバックの井上君がボールを持つと荻沢君が走り、つないで攻撃につなげる。こうしたバックからでもクリアせずに攻撃するサイドからの積極的なプレーが南にテンポの良い流れを作りました。

守備では細川君、中野君が相手の前で素早くボールをカット、ピンチの時には果敢にスライディングする強いディフェンスが印象的でした。

後半には、荻沢君がワンタッチで加藤君へパスを落とすと同時に、吉田君が後ろ

から回り込んで相手裏へ走り出し、そこへ加藤君がパスを出す、受けた吉田君が工藤君へパス、シュートはなりませんでしたが、完全に相手を崩したプレーがありました。

拓大杯の敗戦のあとから取り組んできたサポートの動き、仲間を信じてつなぐという動きを、GK、バック、中盤、FW の全員で見事に展開しました。

得点は、後半 13 分にスローインのボールを小澤君が右サイド深くまで切れ込んでクロスを上げ、それを工藤君がヘディングで決めました。

その後も井上君のキーパーを見て撃ったミドルのループシュートがありましたが、ファインセーブに惜しくも阻まれました。

対バディ中和田 3-0 勝ち (前半 2-0)

いつものように相手 KO のボールに工藤君が仕掛け、カットし、最初から南のペースにします。そして前試合のペースそのままにサイドバックの林君が動き回り、センターの加藤君、吉田君とテンポよくつながります。

タイムを競い合いながら練習した速いパス回しの成果が試合で発揮され、開始 3 分には、林君→小澤君→林君→吉田君→工藤君とつないで臼井君がシュートします。これは相手に当たって阻まれ、混戦の中、林君がシュートしますが得点にはなりません。

5 分にはコーナーキックをニアで林君が流し、それを工藤君が決め先制、8 分に工藤君が相手ゴールキックをカットして得点します。

南のパスがつながり相手中盤のアプローチが甘くなったところを、吉田君がドリ

ブルで仕掛け中央 3 人を抜き、相手をあわてさせました。

後半に入っても、右トップの能登君が前で受け、ポストプレーから小澤君に一度落として抜けだし、もう一度受けて右からクロスを上げたプレーやサイドバックの井上くんからダイレクトでトップの工藤君に出すプレーで相手ゴールを脅かします。吉田君、工藤君から渡り、能登君が撃ったループシュートは実に惜しいものでした。終了間際、攻撃がやや縦ばかりになったかと思ったところ、広くグラウンドを使ったプレーが出ます。

左側矢久保君、荻沢君でつないだボールを吉田君が右サイドの小澤君へ出し、その右からのクロスで左から詰めた荻沢君がボレーで鮮やかに得点を決めました。

強豪バディ相手に見事な試合をしました。

対愛川 4-0 勝ち (前半 3-0)

最後の 3 試合目まで 6 年生皆が一つになった全員サッカーを展開しました。3 試合通じて GK 牛窪君はその時々状況を冷静に判断し、ゴールキックを大きくフィードしたり、サイドバックにボールを提供したり、試合の流れの起点を作りました。またボランチとして加藤君の右左への安定したボールさばきがチームのリズムを作りました。

1 点目は、小澤君が V 字で相手をきれいにかわして工藤君にパスし、工藤君がシュートを決めました。2 点目は、相手コーナーキックのカウンターで、工藤君→荻沢君→工藤君→逆サイドを走った林君とつながり、工藤君がシュートを決めました。3 点目は、井上君から狙い澄ましたパスを受けた工藤君がドリブルで持ち込んでシュートを決めました。4 点目は、後半 6 分工藤君のシュートパス(きっとシュートだったと思う)を林君が頭で合わせた強烈なシュートでした。

後半の開始の笛で相手 KO ボールを吉田君が奪取するなど、開始の笛から終了の笛まで全員が集中して戦ったナイスゲームでした。

1 次予選突破で、山中湖の 2 次予選に進みます。1 次予選の優秀選手は、工藤君と林君でした。

b y 伊藤コーチ

7/17 GP 招待二次リーグ 1 日目 7 月 17 日山中湖

対 JACPA 0-4 負け (前半 0-2)

6 年生が今、取り組んでいる「どんな場面でも、鳥かごをイメージして、三角形をつくって、つないで攻める」というテーマに対して、強い相手にどれだけできるかを試す絶好の相手でした。プレッシャーの速くて強い相手に対して、負けはしましたが、キーパーからのリスタートを牛窪君が左バックの井上君に渡し、矢久保君、吉田君、加藤君がきれいに三角をつくりつないで攻め上がったプレーや、小澤君が中盤で前を向いたところ林君が長い距離を走ってオーバーラップをしたプレーは、チームとしてテーマを意識しているからこそできたプレーでした。

対 GP 2-3 負け (前半 1-2)

前半 6 分、吉田君からの浮球を工藤君が相手に寄せられながらも 90 度体を反転させながらシュートして先制しました。右側で小澤君と加藤君のワンツーから吉田君が受け、逆サイドの荻沢君につないで攻め上がったプレーは 6 年生の意識の高さを感じさせてくれました。ゴール前では、クロスに林君がよく体を寄せて防ぐ守りをしてくれますが、2 本のミドルシュートを含む 3 点を入れられて、1-3 となりま

した。
しかし、最後まであきらめることなく戦い、終了 1 分前に工藤君がドリブルからシュートを決め、逆転への意欲が十分なことを感じさせてくれました。

対笠縫 1-0 勝ち (前半 0-0)

相手チームは一人一人ドリブル、個人技レベルの高い相手でしたが、「南はドリブルサッカー」という誇りがあります。「個人技では負けられない」という意地で厳しいプレッシャーを与え続け、相手を自由にさせませんでした。

初めてセンターバックに入った八木下君は速く激しい動きで相手の出足をくじきました。

後半 1 分、バックの井上君からつながったボールを工藤君が受け、ドリブルからシュートを決めて先制しました。その後も能登君のポストプレーから工藤君がシュートするなど何度もチャンスを作りました。

対高部東 7-0 勝ち (前半 5-0)

南キックオフのボールを工藤君がドリブルで持ち込んでいきなりシュートを撃ち、積極性を見せます。吉田君のクロスから相手のクリアボールを荻沢君が押しこんで先制。加藤君と吉田君がパス交換したボールを工藤君が受けてドリブルシュートで 2 点目。林君からキーパの牛窪君、逆サイドバックの細川君、工藤君と渡って 3 点目。コーナーキックから吉田君のシュートをはじいたボールに荻沢君が詰めて 4 点目。相手ゴールキックのミスで工藤君が持ち込んでキーパをかわしてシュートして 5 点目。

後半は加藤君からパスを受けた小澤君のシュートによく詰めていた細川君が押しこんで 6 点目。

最後はフリーキックを工藤君が決めて 7 点を奪いました。

「コンビネーション」、「コーチング」、「パスとトラップの精度を上げる」というめあてに対して皆が意識して取り組んでいる姿勢が見れました。攻めでは、ゴール前まで自陣からパスをつないで攻め上がっていくプレーは「コンビネーション」と「コーチング」の現れだと思えます。

守備では小澤君が先読みして相手ボールをカットしたり、中野君がトラップ際で

奪ったりという一つ先を読んでディフェンスをするプレーも見られました。パスとトラップの精度をどんどん上げて、「ドリブルで抜く」、「多人数で攻める」という判断を一人一人が自信を持ってできるようになってくれると思います。2 敗してしまった 2 試合目が終わったところで決めた「めあて」の「せめて 2 勝 2 敗の五分にする」は見事達成し、明日は 3 位パートで戦います。

b y 伊藤コーチ

さわやか杯 一次リーグ突破 8 月 27 日 (土) 文化大 G

全日本と並び、最大の目標の大会の「さわやか杯」の 1 次リーグを 1 勝 1 分けて 1 位通過し 2 次リーグ進出を決めました。当日は 5 年生から小林君、谷口君も参加しスタメンで活躍してくれました。2 次リーグも勝ち抜き、都大会を目指そう。

○チーム戦術&めあて

- ・守備 コンパクトな守備。前からのプレス。
- ・攻撃 DF ラインの押し上げ、厚みのある攻撃、DF 裏のスペースへのクロス、プルバック

○南八王子 vs みなみ野 0-0

前半は相手ペースで進みますが、後半に加藤君、細川君が入り攻守のバランスが良くなりました。MF 林君の右サイド突破からのパスを FW 工藤君の振り向き様のシュートや、FW 小林君の DF 裏へのパス等攻撃パターンが増えますが、一進一退の攻防が続く、惜しくも引き分けに終わります。

○南八王子 vs 片倉みなみ野 5-0

みなみ野が初戦の片倉みなみ野に 3-0 で勝利しているため、2 次リーグ進出の為に 4 点が必要な厳しい状況です。前半は FW 工藤君のゴールでスタートし工藤君のプルバックから FW 小林君が鮮やかにシュートを決めて 2-0 で前半を折り返します。後半も 2 点以上必要ですが、トップ下の小沢君の大きな攻撃展開や、FW 小林君からスルーパスを受けた FW 工藤君のゴール、MF 加藤君のゴール前の攻防を抜け出してゴール、FW 小林君の 2 点目の得点で後半は見事 3 点を追加し 5-0 で 2 次リーグを進出を決めました。

守備面ではコンパクトな守備、フォアチェックの意識が高まっています。DF 陣の井上君、谷口君、中野君、矢久保君のポジショニング、攻撃時の DF 押し上げ、シンプルなボールさばきも向上しています。課題は守備⇒攻撃への切り替えです。スペースの活用、コンビネーションプレーをもっと使い得点パターンを増やせるかが白百合戦での勝負です。

b y 中野コーチ

リーグ戦速報 9 月 4 日 2 年生 春のカップ戦優勝のシルクと 4-4 の引き分け

前半 0-4 とリードされましたが、後半小笠原君が 4 点をゲットして見事同点！他のみんなも GAMB A ったね。

小笠原君は午後練習にも必ず出席して、常に全力でプレーをする努力が着実に実っています。他のみんなも続いてほしいです。

努力は裏切りません。必ず実ります。35 年目の実感です。

b y 矢上

